

河川女子現場レポート

《河岸洗掘箇所調査》

TEAM-YONESIRO
レポート/よねっし〜



みなさん、こんにちは！よねっし〜です。大館市扇田地区にある河岸洗掘箇所の現地調査に同行させていただきましたので、その様子をお伝えしたいと思います。

*河岸洗掘（かがんせんくつ）とは、河川敷と水面が接する部分の法面（のりめん）を河岸と言い、その法面が流水の作用によって削り崩されることを言います。



上流側から見た河岸



下流側から見た河岸

扇田地区は河川の勾配がきつく、流れが速いうえに蛇行しているため、河岸が削られてしまったようです。これ以上削られるのを防ぐための応急対策として、川底には「袋詰根固め」、法面には「大型土のう」を設置し、河岸の保護をしているとのこと。今後は、3月に工事契約となった「米代川扇田地区護岸工事」にて、丈夫で安全な護岸をつくる予定です。



【大型土のう】
シートの中に河川の土砂が入っている（約2t）



【袋詰根固め】
ネットに大型の石が入っている（約3t）

現地調査時の川の様子ですが、雪解け水の影響で水の量も多く、流れがとても速かったです。大型土のうがいくつも積み上がっている姿はとても迫力があり、水の威力の凄さを改めて感じました。最終的にどのような護岸が完成するのか、とても興味深いですね！ 施工中や完成後の様子もお伝えできればと思います(^ ^)/